



鳥取県

臓器・アイバンクだより



2019.7
No. 18

～グリーンリボンは移植医療のシンボルです～

鳥取県臓器・アイバンクでは、移植医療を県民の皆様にご理解いただくための普及啓発活動や、県内の医療施設における移植医療に関する院内体制整備の支援、円滑な臓器提供および臓器移植のための各関係機関との調整を行っています。平成30年度の活動をご報告します。

10月は臓器移植普及推進月間です

街頭キャンペーンを開催



倉吉未来中心



イオン日吉津店

西部地区 10/14
イオンモール日吉津
東部地区 10/21
イオン鳥取北店
中部地区 10/28
倉吉未来中心

平成9年10月の臓器移植法の施行後、毎年10月は臓器移植普及推進月間です。街頭キャンペーンでは、31団体総勢99名のボランティアの皆様にご協力いただき、意思表示の呼びかけやリーフレットの配布をのべ6,214名に対して行いました。また、臓器提供意思表示カード・健康保険証・運転免許証等の所持、記入等に関するアンケートも合計484名に回答していただきました。



10月は臓器移植普及推進月間です

《誰かのために、できること。みんなで意思表示の輪を広げよう》

移植医療への理解と意思表示への認知と理解が進むことを目的としてグリーンリボンキャンペーンを実施します！

1 街頭キャンペーン実施

- リーフレット、意見書、長紙の配布
- 臓器提供の意思表示に関するアンケート実施

10月16日 13:30~14:30 イオン鳥取北店

10月23日 13:30~14:30 イオンモール日吉津、イオン日吉津店

10月30日 10:30~11:30 倉吉未来中心

2 グリーンライトアップ

全店同時開催

10月16日はグリーンリボンデーです。東京タワーをはじめ、全国各地の著名ランドマークや建物をグリーンライトアップします。ライトアップがご賞賛あるなか、大切な方へ、いのちのことや、臓器移植について話さきっかけになることを願っています。

10月16日(日)~23日(日) 18時~22時

【会場】鳥取駅前広場
【協賛】鳥取県庁、鳥取市役所、米子駅前(米子市会館)

アズミラテ学芸館内観覧室 駅前広場

主催：(公財)鳥取県臓器・アイバンク、鳥取県
問い合わせ先：(公財)鳥取県臓器・アイバンク TEL 0859-34-4809

ご協力いただいたボランティアの皆様（順不同、敬称略）

- | | |
|----------------|-----------------|
| 鳥取砂丘ライオンズクラブ | 米子北斗高等学校 |
| 鳥取中央ライオンズクラブ | 米子東高等学校 |
| 鳥取ライオンズクラブ | 鳥取市医療看護専門学校 |
| 鳥取いなばライオンズクラブ | 米子医療センター附属看護学校 |
| 鳥取千代ライオンズクラブ | 鳥取県薬剤師会 |
| 鳥取久松ライオンズクラブ | 鳥取県立厚生病院 |
| 湯梨浜みらいライオンズクラブ | 谷口病院 |
| 倉吉ライオンズクラブ | 谷口病院東伯サテライト |
| 米子中央ライオンズクラブ | 山陰労災病院 |
| 米子城山ライオンズクラブ | 米子医療センター |
| 鳥取赤十字病院 | 鳥取大学医学部附属病院 眼科 |
| 鳥取市立病院 | 鳥取県腎友会 |
| 岩美病院 | 鳥取市役所 |
| 倉吉西高等学校 | 米子市役所 |
| 湯梨浜学園高等学校 | 西部総合事務所・中部総合事務所 |

たくさんの方のご参加ありがとうございました。



“移植を受けた子ども達の作品展”を開催



移植手術を受けた子ども達がドナーの方やご家族、支援して下さった皆さんへの感謝の気持ちを表現した絵画や作品を展示しました。子ども達の希望あふれる作品を通して、命の尊さや生きるよろこびといったメッセージを多くの県民の方々にご覧いただくことができました。

日程	中部地区	8/7~8/16(10日間)	倉吉未来中心
	東部地区	8/22~9/2(12日間)	とりぎん文化会館
	西部地区	9/18~9/25(8日間)	イオンモール日吉津

作品展来場者の感想

- 提供を受けられる人が一人でも多くなるといいなと思いました。非常に少ない%で驚きました。この様な展示を今後も企画され、広めていってほしいと思います。(50代女性/中部)
- 直接的ではないけど別の形で見知らぬ誰かを助け、命をつないでいくことの意味を考えさせられた。(10代男性/中部)
- 機会があるたびに作品を見て勇気もらっています。「あたり前の日常が素晴らしい」という言葉はとても深い意味をもつと思います。また走っている写真の子どもの笑顔がとても素敵でした。来年も楽しみにしています。(50代男性/東部)
- 外国で移植をうけた子が多く、国内が少ないのが残念です。もっと啓発と意識改革の取り組みをねがいます。(50代男性/東部)
- 作品は全てに力が有り作者の意志が表現されて居る。写真を見ると皆の表情に力、明るさ等感じられてどの写真もすばらしい一枚でした。(70代男性/東部)
- 素晴らしいものばかりで感動しました。生きていることは当たり前でない。ということに改めて気がつきました。ありがとうございます。(50代女性/東部)
- 臓器移植を受けた多くの人たちが今現在、幸せな人生を送れているので、臓器移植は大切だなと思いました。(10代女性/西部)
- 明るい作品が多いのが印象的。「日常を普通に生きること」への喜びを感じます。(40代女性/西部)
- 子どもたちの思いが絵から伝わってきた。みんなが元気で成長してくれることを願っています。(50代女性/西部)



ショートムービー上映会 ～移植医療にまつわる 2つの物語～を開催

移植医療に関わる当事者の思いを描いた短編映画の無料上映会を行いました。「ヒ・カ・リ」はDVDの貸し出しが可能です。ご希望の方は鳥取県臓器・アイバンクまでご連絡ください。

日時 平成30年6月16日(土) 会場 米子市文化ホール
 内容 上映1 「ヒ・カ・リ」
 (日本アイバンク協会提供、滝沢秀明さん 中山優馬さん出演)
 上映2 「緑色音楽」
 (グリーンリボンキャンペーン実行委員会提供、村上虹郎さん オダギリジョーさん出演)



グリーンライトアップを実施

移植を待つ患者さんに、希望の光を届けよう!



(公社)日本臓器移植ネットワークが実施するキャンペーン「グリーンライトアップ プロジェクト」へ参加しました。全国の有名なランドマーク・建造物を移植医療のシンボルである緑色に照らし、移植医療や意思表示について気付いて考えてもらうことを目的としたイベントです。ご家族や大切な方と話し合うきっかけになることを祈り、28都道府県51カ所でライトアップが行われました。



実施期間 平成30年10月16日(火)～10月23日(火)

米子駅前(米ッ子合掌像) 鳥取駅前北口(ケヤキ広場)



鳥取県の臓器移植に関する意識調査

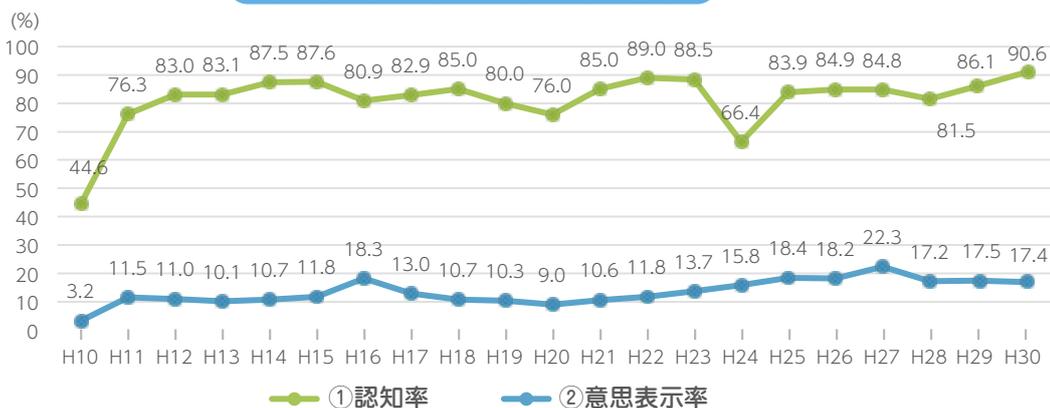
当財団では平成10年より毎年、臓器提供の意思表示率などのアンケート調査を行っております。沢山の方に調査へご協力いただき、誠にありがとうございました。(平成30年度回答者数800名)

質問項目

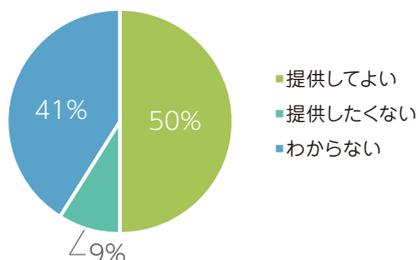
- ① 意思表示カード・運転免許証や健康保険証で臓器提供の意思表示ができることを知っていますか?
- ② 臓器提供の意思を表示していますか?
- ③ 臓器提供について、どのように考えていますか?
- ④ 臓器提供について、家族と話し合ったことがありますか?

～調査結果～

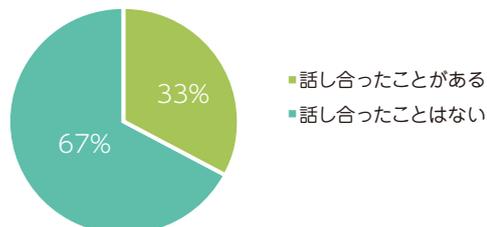
鳥取県の認知率・意思表示率の推移



③臓器提供に対する考え方



④家族との話し合い



地域の皆様のご協力のもと、普及啓発活動を行いました

イベント参加

今年もたくさんの方々にご協力いただき、ありがとうございました。



**米子市
ふれあい健康
フェスティバル**
境港ライオンズクラブ主催
境みなと寄席



米子医療センター附属看護学校



気高中学校

平成30年度 講義・出前講座

日野町立日野中学校
江府町立江府中学校
鳥取市立気高中学校
倉吉西高等学校
八頭高等学校
境高等学校

米子工業高等専門学校
鳥取県中部小学校研究会
鳥取県小学校教育研究会
鳥取看護高等専修学校
倉吉看護高等専修学校
鳥取県立看護専門学校

米子医療センター附属看護学校
倉吉総合看護専門学校第一看護学科
倉吉総合看護専門学校第二看護学科
鳥取大学医学部保健学科検査専攻
鳥取大学医学部医学科

出前研修のお知らせ 無料

県民のみなさまに移植医療について正しくご理解していただけるよう、鳥取県臓器移植コーディネーターを研修会・講演会に派遣しております。短時間であっても可能ですので、ぜひご活用ください。

対象： 中学校・高校・専門学校・大学・病院・企業・公民館・地域の会合など

内容： 移植の基礎知識、移植医療の現状、ドナーのご家族や移植を受けた患者さんの体験談など、ご希望にそって対応します。

第3回山陰地区臓器提供セミナーを開催<医療従事者向け>

山陰両県の救急告示病院等に所属する医療従事者および関係者を対象としたセミナーを開催しました。

日時 2018年12月15日(土)
会場 米子コンベンションセンター

プログラム



- ①「臓器移植の基礎知識と国内の現状について」
日本臓器移植ネットワーク 移植コーディネーター 清水 聡子先生
- ②「家族の意思を尊重すること ～脳死下臓器提供における院内コーディネーターの役割～」
愛媛県立新居浜病院 検査部技師長 菅 成器先生

- ③「小児の脳死下臓器提供に必要な体制の整備 — その要点と課題について —」
埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター 荒木 尚先生

小児の脳死下臓器提供に必要な体制の整備 — その要点と課題について —

埼玉医科大学総合医療センター 高度救命救急センター

荒木 尚 先生

<一部要約>

救命救急センターには、時に、不慮の事故などから頭部外傷といった非常に重篤な状態の子どもの患者さんが運ばれてくることがあります。行いうるすべての治療を全力で行いますが、手術の最中に既に救命不可能だと経験的に予見しても、手術直後に即刻治療から撤退するのではなく、まずその子がどういう臨床経過を辿っていくのかということを経験的に確認していくこととなります。その救命の限界を評価する方法の一つが脳死判定ですが、日本では、脳死判定は日常診療のなかであまり行われていないものと思われま

す。北米やヨーロッパなどでは脳死を診断することにより大きな線を引きます。脳死をもって人の死とすると一律に決めている国においては、その脳死の判定が終わったらそこで死亡宣告がなされます。しかし、日本には救命困難な患者さんに対して脳死判定で線引きをしようという文化はまだありません。

脳死の診断は悲しい診断ですし、誰も幸せになりません。もし、これが別の疾患の診断ならば、疾患を治療・根治させたり、また幸せを開くこともできる。けれども、脳死の診断というのは、脳死を厳密に診断しても、そこから新たに生命が助かることは無いのです。誰も幸せになりません。悲しみだけが残ります。脳死を正確に診断することから何を生み出していけばいいのか、私自身もすごく悩みます。

そんな中で救急・集中治療現場の医療従事者の役割として、ご家族に臓器提供の意思があるかどうかを汲み取らないといけないことは苦しいものです。しかし、現在の日本において、本当に小児の臓器提供・臓器移植に未来はないのかということ、そうではないと思います。実は若い親御さんの中にも、残念ながら自らの愛する子どもは助からないという状況に差し迫られた時、臓器提供をすることによって、日本のどこかで病に苦しんでいる子ども達のために役に立てないだろうか、というアイデアを持たれる方々が存在します。ただ、やっぱり自分の子どもに対して親御さんが抱く気持ちはそう簡単に割り切れるものではないでしょうし、目の前

に広がる現実を受け入れられない部分もきっとあると思います。

問題は、そういうご家族に対してケアをどうやって行っていくのかということです。移植をした家族の心情は、重症管理中、脳死になった時、選択肢提示後、承諾後、移植後と、段階的に変化していくと言われていますが、このプロセスは法や論理で割り切れない個人の価値観が介在し、さらに多様に変化するといわれています。心の痛みは、心理的な苦痛、社会的な苦痛、スピリチュアルな苦痛に分けられていますが、これらの痛みがいつどの時期にどのような形で出てくるか、ご家族それぞれによって違います。また、全国どこの地域であっても、個々の施設で毎日の業務に一生懸命努力しているスタッフがおり、その地域に根付く独自の風土に根差した心に響く言葉を持っておられるはずで

す。家族に対するケアには、全国一律で標準型という定型は本来存在しないもので、担当する医療スタッフの人生や臨床経験に培われた気づき、思いやり、優しさ、愛情などが活かされているものだと思うんです。

家族ケアというものは、きちんとその悲嘆を包み込みながら、それなりの時間を必要とするものですが、どうすればうまくできるという方法はありません。マニュアルもありません。かつてカナダの恩師は、「家族ケアの本質で一番大切なことは、教科書には書かれていないことだ」という言葉を贈ってくれました。家族に寄り添うケアの形とは、教科書に書けるような性質のものではなく、家族の理解度や心理を押し量りつつ、医療従事者こそが彼らの悲嘆をしっかり受け止められるような構えでいること、そして最期まで、そっとそばに控えて支えていくことにある、と教えてくれたこともありました。

ケアを行うことが本道にあり、その行く道の中で家族がふと、臓器の提供をしたいと申し出られた時に、私たちがどう対峙すべきなのか、皆様の中でお答えをお持ちになられたのではないかと思います。

鳥取県の移植事情

県内の臓器提供対応病院

病院名	心停止後の臓器提供	脳死での臓器提供
鳥取大学医学部附属病院	◎	◎
鳥取県立中央病院	◎	◎
鳥取県立厚生病院	◎	◎
山陰労災病院	○	○
鳥取医療センター	◎	-
鳥取赤十字病院	◎	-
鳥取市立病院	◎	-
米子医療センター	○	-
博愛病院	○	-
三朝温泉病院	○	-
岩美病院	○	-
日野病院	○	-
伯耆中央病院	○	-

◎…対応可能
(18歳未満含む)
○…対応可能
(18歳未満除く)

※献眼のみの場合は、すべての医療機関、福祉施設、ご自宅等にて可能です。
※記載されてない病院は、非公表又は対応不可です。

実績

県内で行われた死後の臓器提供			県内の医療機関で行われた移植		
	平成30年度	累計		平成30年度	累計
心停止後の臓器提供	0件	4件	献腎移植 (亡くなった方からのご提供による腎臓の移植)	0件	12件
脳死での臓器提供	0件	2件			
眼球提供(献眼)	0件	46件	角膜移植 (当アイバンク斡旋)	1件	79件

※累計は平成9年度(臓器移植法施行)～平成30年度まで

平成30年度 決算報告

平成30年度も鳥取県からの補助金、皆様からいただいた賛助会費、ご寄附、県債・国債の運用益、角膜等のあっせん手数料等により活動しましたのでご報告します。(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

経常収益

(単位:円)

基本財産運用益	847,761
受取賛助会費	981,000
角膜等あっせん受取手数料	200,000
鳥取県受取補助金	14,759,872
(公社)日本臓器移植ネットワーク受取補助金	1,496,434
(公財)日本アイバンク協会受取補助金	170,530
国庫補助金	1,522,000
受取寄附金	206,378
受取利息	158
経常収益計	20,184,133

経常費用

(単位:円)

事業費	15,586,571
臓器バンク	13,683,664
アイバンク	1,902,907
管理費	3,771,271
経常費用計	19,357,842

当期一般正味財産増減額 826,291

賛助会へのご協力・ご寄附をいただき、ありがとうございました。

皆様から頂きました賛助会費・寄附金は普及活動、事務局運営に必要な経費として支出いたしました。

●団体会員

(順不同、敬称略)

合計 37 団体 740,000 円

鳥取いなばライオンズクラブ	医療法人清和会垣田病院	社会福祉法人恩賜財団鳥取県済生会境港総合病院
境港美保ライオンズクラブ	医療法人ふなこし眼科ペインクリニック	独立行政法人国立病院機構米子医療センター
鳥取ライオンズクラブ	社会医療法人明和会医療福祉センター渡辺病院	特定医療法人財団同愛会博愛病院
鳥取中央ライオンズクラブ	医療法人社団ミオ・ファティリティ・クリニック	公益社団法人鳥取県中部医師会立三朝温泉病院
米子城山ライオンズクラブ	医療法人ファミリークリニックせぐち小児科	医療法人さとに田園クリニック
鳥取久松ライオンズクラブ	医療法人明穂整形外科	医療法人社団やまもと新開山本クリニック
境港ライオンズクラブ	さいはく眼科クリニック	医療法人滉陽会のぐち腎クリニック
鳥取信用金庫	医療法人社団渡部医院	医療法人社団諒心会米子西クリニック
公益財団法人鳥取県保健事業団	鳥取県立厚生病院	医療法人社団上福原内科クリニック
公益社団法人鳥取県医師会	日本赤十字社鳥取赤十字病院	医療法人社団三樹会吉野・三宅ステーションクリニック
一般社団法人鳥取県薬剤師会	日野病院組合日野病院	医療法人真誠会真誠会セントラルクリニック
鳥取県腎友会	南部町国民健康保険西伯病院	
医療法人社団魚谷眼科医院	医療法人清生会谷口病院	

●個人会員

合計 93 名 241,000 円

県職員	69名	医師会	16名	一般	5名	理事・評議員	3名
-----	-----	-----	-----	----	----	--------	----

●ご寄附をいただきありがとうございました。(順不同、敬称略)

境港ライオンズクラブ	158,298円	鳥取県中部小学校教育研究会	10,000円
鳥取中央ライオンズクラブ	5,650円	鳥取県小学校教育研究会	10,000円
医療法人社団もりもと	10,000円	米子医療センター(支援型自販機)	2,430円
浦木 誠一	10,000円		

(ご注意)

・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。

・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。

・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。

・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。

・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼 付



印

この場所には、何も記載しないでください。

腎移植や移植医療に関するご相談

腎臓移植や死後の臓器提供についてのご相談や専門的なご質問に、鳥取県臓器移植コーディネーターがお答えいたします。施設への訪問も可能です。

移植に関する素朴な疑問など、お気軽にお電話ください。(平日8:30~17:15)

賛助会員、ご寄附のおねがい

当財団の運営は、基本財産の運用益と皆様からの賛助会費やご寄附による支援により行っております。当財団の活動に皆様の温かいご支援をお願いいたします。

当財団の賛助会員にご加入いただいた場合、特定公益増進法人への寄附金として、金額により税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせください。

税制上の優遇措置が受けられる場合には、当財団発行の領収書と税額控除に係る証明書が必要となりますので、お申し付けください。

賛助会員会費

団体年会費 ー□ 20,000円
個人年会費 ー□ 2,000円

振り込み先

郵便振替 01350-5-92999

口座名義

公益財団法人
鳥取県臓器・アイバンク

お問い合わせ(移植医療に関する資料・アイバンク登録・献眼など)



公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク

〒683-8504 米子市西町36番地の1(鳥取大学医学部内)

TEL0859-34-4809 FAX 0859-31-9130

ホームページ <http://www.zouki-t.net>

臓器・アイ

検索

お振り込みは、右記の用紙にて最寄りの郵便局よりお願いいたします。

02 広島		払込取扱票				通常払込料金 加入者負担							
口座記号番号						金額							
0	1	3	5	0	5	千	百	十	万	千	百	十	円
013505						92999							
加入者名 公益財団法人鳥取県臓器・アイバンク						料金		備考					
* 通信用欄						1. <input type="checkbox"/> 賛助会費 <input type="checkbox"/> 個人 (1口 2,000円) _____ □ <input type="checkbox"/> 法人 (1口 20,000円) _____ □ 2. <input type="checkbox"/> 寄附金 _____ 円 使途の指定 無・有 (_____)							
* 各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。						* 日附印		ご依頼人					
* おところ(郵便番号) _____)						* 日附印		* おなまえ _____ 様					
* おなまえ _____)						* 日附印		* (電話番号) _____)					
ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 広第7381号)													
これより下部には何も記入しないでください。													

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。切り取らないうちを出してください。

振替払込請求書兼受領証

013505		通常払込料金 加入者負担			
口座記号番号					
0	1	3	5	0	5
92999					
加入者名 公益財団法人 鳥取県臓器・アイバンク					
金額					
* おなまえ					
* 日附印					
* 料金					
* 備考					

この受領証は、大切に保管してください。